

奈良県起業家支援事業 公募型企画提案説明書

奈良県産業部経営支援課

- 1 業務名
奈良県起業家支援事業委託業務
- 2 業務目的
過度な東京への一極集中の是正と県内の担い手確保のために、県内の起業の機運醸成に加え、起業に伴う資金面での障壁を軽減し、事業の成長を加速化するための伴走支援を行うことにより、本県経済を牽引するスタートアップ企業を創出し、県内経済の活性化を図ることを目的とする。
- 3 業務の内容
別添「業務仕様書」のとおり
- 4 契約期間
契約締結の日から令和7年2月28日まで
- 5 委託契約の方法等
 - (1) 契約方法
随意契約（地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の2第1項第2号）
 - (2) 契約の相手方
企画提案を公募し、その内容を審査して最良の提案をした者を特定し、随意契約の相手方の候補とする手続き（公募型企画提案）による。
- 6 委託上限額
金5,000,000円（消費税及び地方消費税10%を含む。）
- 7 公募型企画提案への参加資格
次のすべての要件を満たしていること。
 - (1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当していないこと。
 - (2) 奈良県物品購入等の契約に係る指名停止等措置要領による指名停止又は指名留保の措置期間中でない者であること。
 - (3) 国内の事業者にあつては奈良県税を滞納していない者であること。
 - (4) 消費税及び地方消費税を滞納していない者であること。
 - (5) 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条の規定による更生手続開始の申立てをしていない者又は申立てをなされていない者であること（更生手続開始の決定を受けた者を除く）。
 - (6) 平成12年3月31日以前に民事再生法（平成11年法律第225号）附則第2条の規定による廃止前の和議法（大正11年法律第72号）第12条第1項の規定による和議開始の申立てをしていない者であること。
 - (7) 平成12年4月1日以後に民事再生法第21条に規定する再生手続開始の申立てをしていない者又は、申立てをなされていない者であること。

- (8) ISO/IEC27001、ISMS 認証、プライバシーマーク等の第三者認証を取得、または、個人情報の保護に関する法律に則った個人情報の取扱い方針（個人情報保護方針、プライバシーポリシーなど）を定めていること。

8 手続き等

(1) 参加申込書の提出期限、提出先及び提出方法

提出期限 令和6年4月22日（月） 午後5時（必着）

提出先 下記13の問い合わせ先に記載のとおり。

提出方法 持参又は郵送（配達を証明できる方法によること。提出期限必着。）

※持参の場合は、平日の午前9時から午後5時まで。

- 提出物
- ① 参加申込書（様式1） 一部
 - ② 企業概要 八部
 - ③ 決算書（直近二期分） 八部
 - ④ 県税の滞納のない証明書 （写し可）一部
 - ⑤ 法人の履歴事項全部証明書 （写し可）一部
 - ⑦ 消費税及び地方消費税の納税証明書 （写し可）一部
 - ⑧ 特約店又は代理店等の証明書（特約店、代理店等の契約を締結している場合は、その証明書もしくは代理店契約書等の写し）
（写し可）一部
 - ⑨ 営業許可等の証明（法令の規定による営業上の許可・認可証を有している場合は、その許可、認可証等の写し） （写し可）一部
 - ⑩ 法人の代表権を有する者が支店等の長に契約に関する権限を委任する場合は、委任状（様式6）及び実印の印鑑証明 原本各一部
※ただし⑤～⑩の書類については、奈良県「物品購入等に係る競争入札の参加資格等に関する規程（平成7年12月27日奈良県告示第425号）」第3条第1項に定める競争入札参加資格者名簿に登載されている者は、提出する必要はない。
その場合は奈良県が発行する入札参加資格審査結果通知書を提出。
（写し）一部
※⑧、⑨、⑩の書類について該当のある場合のみ提出を求める。
 - ⑪ 誓約書（様式7） 一部

(2) 企画提案書にかかる質問及び回答

受付期間 令和6年4月9日（火）から令和6年4月16日（火）正午まで

質問方法 質問票（様式4）により、FAXによること。

質問先 下記13の問い合わせ先に記載のとおり。

回答方法 参加申込みのあったすべての者に対してFAXにより随時回答する。

(3) 企画提案書の提出期限、提出先及び提出方法

提出期限 令和6年5月1日（水） 午後5時（必着）

提出先 下記13の問い合わせ先に記載のとおり。

提出方法 持参又は郵送（配達を証明できる方法によること。提出期限必着。）

※持参の場合は、平日の午前9時から午後5時まで。

- 提出物
- ① 企画提案書（様式2） 正本一部、副本七部
 - ② 企画提案明細書（様式3） 正本一部、副本七部
 - ③ 価格見積書 正本一部 副本七部

9 審査の方法

- (1) 参加資格を有する事業者から提出された企画提案を、奈良県起業家支援事業委託事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）が別添審査基準に基づき審査し、最も優秀な提案を行った事業者を特定し、契約の相手方の候補（以下「被特定者」という。）とする。
※審査委員4名の合計点を集計し、最高点のものを被特定者とする。ただし、全委員の評価点数の合計の平均点が6割に満たない場合は被特定者とししない。また、提案者が1者の場合全委員の評価点数の合計の平均点が6割以上であるか評価し、被特定者を決定する。
- (2) 提案者は、選定委員会において、提案の内容についてプレゼンテーションを実施する。なお、選定委員会の開催日程については、提案者に対して後日通知する。
- (3) 提案者が五社以上となった場合は、提出があった提案書をもとに第一次審査を実施し、選定委員会へ諮る案件を絞り込むことがある。
- (4) いずれの場合においても、必要に応じて、提案者に対してヒアリングを行うことがある。

10 企画提案明細書の作成について

企画提案明細書（様式3）の各項目に沿って具体的に記載のこと。

- (1) 業務遂行能力
 - ・ 業務実施手順、業務全体のスケジュール
 - ・ 業務全体を円滑に遂行するための人員及び実施体制
 - ・ 過去の創業・経営支援に係る業務実績（直近5ヶ年）
- (2) 業務実施内容
 - ・ 「起業支援金支給対象事業計画の公募・選定等業務」の実施内容
 - ・ 「伴走支援業務」の実施内容

※企画提案明細書以外の業務説明資料を添付していただいて構いません。

11 その他留意事項

- (1) 採否結果の通知
採否については、提案者あて文書により通知する。下記13 問い合わせ先に記載のホームページにて令和7年2月28日（金）まで審査結果を掲載する。なお、審査結果に対する一切の異議申し立ては認めない。
- (2) 参加申込書又は企画提案書が無効となる場合
 - (ア) 提出方法、提出先、提出期限が適合しないもの。
 - (イ) 記載すべき事項の全部又は一部について記載がないもの。
 - (ウ) 記載すべき事項以外の内容が記載されているもの。
 - (エ) 添付すべき書類の添付がない場合
 - (オ) 虚偽の内容が記載されているもの。
- (3) 提案者の失格事由
提案者が次の事項に該当した場合は、失格とする。
 - (ア) 提出書類の提出期限を過ぎたとき。
 - (イ) 提案に参加する資格がない者が提案したとき。
 - (ウ) 本企画提案に対して、二以上の提案をしたとき。
 - (エ) 本企画提案に対して、自己のほか、他人の代理人を兼ねて提案したとき。
 - (オ) 本件企画提案に対して、二以上の代理人をしたとき。

- (カ) 見積書の金額、住所、氏名、印影若しくは重要な文書の誤脱、金額を訂正した見積もりをしたとき、その他提出書類に虚偽の記載をした場合。
- (キ) その他、提示した事項及び企画提案に関する条件に違反したとき。
- (4) 提案後の失格
提出書類を提出後、契約締結までの手続き期間中に提案者が失格事由に至った場合は、以後の本件に関する手続きの参加資格を失う。また該当する者が受託者として特定されている場合は、次順位の者と手続きを行う。
- (5) 提案の辞退
提出書類を提出した後に辞退する場合は、速やかに下記13まで連絡するとともに、辞退届（様式5）により届け出ること。
- (6) 再委託の禁止
特定された受託者は、本件業務を第三者に委託し又は請け負わせることはできない。ただし、あらかじめ奈良県の承認を受けた場合はこの限りではない。
- (7) その他
 - (ア) 本件公募型企画提案への参加にかかり生ずる費用は、提案者の負担とする。
 - (イ) 提出のあった参加申込書及び企画提案書は返却しない。
 - (ウ) 提出期限以降における参加申込書及び企画提案書の提出、追加訂正、差し替えは一切認めない。
 - (エ) 提出のあった企画提案書は、本件公募型企画提案の審査のためにのみ使用するものとし、他の目的では使用しない。
 - (オ) 委託業務内容の詳細については、企画提案の内容を基本とし、奈良県と被特定者が協議して決定する。
 - (カ) 被特定者と奈良県契約規則等に基づき、前記（オ）の協議を経て、提案のあった見積価格の範囲内で委託契約を締結する。

12 契約の不締結

被特定者と契約締結までの間に、被特定者について次のいずれかに該当する事由があると認められるときは、契約を締結しないものとする。

- (1) 被特定者の役員等（法人にあっては役員（非常勤の者を含みます。）、支配人及び支店又は営業所（常時契約に関する業務を行う事務所をいう。以下同じ。）の代表者を、個人にあってはその者、支配人及び支店又は営業所の代表者をいう。以下同じ。）が暴力団員であるとき。
- (2) 暴力団又は暴力団員が経営に実質的に関与しているとき。
- (3) 被特定者の役員等が、その属する法人、自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で、又は第三者に損害を与える目的で、暴力団又は暴力団員を利用しているとき。
- (4) 被特定者の役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的若しくは積極的に暴力団の維持及び運営に協力し、又は関与しているとき。
- (5) (3)及び(4)に掲げる場合のほか、被特定者の役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有しているとき。
- (6) この契約に係る下請契約又は資材及び原材料の購入契約等の契約（以下「下請契約等」といいます。）に当たって、その相手方が(1)から(5)までのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結したとき。
- (7) この契約に係る下請契約等に当たって、(1)から(5)までのいずれかに該当する者をその相手方としていた場合（(6)に該当する場合を除きます。）

において、本県が当該下請契約等の解除を求めたにもかかわらず、それに従わなかったとき。

13 問い合わせ先

〒630-8501 奈良市登大路町 30

奈良県産業部 経営支援課

「奈良県起業家支援事業委託業務」係あて

電話番号 0742-27-8131

FAX 番号 0742-23-1396

<https://www.pref.nara.jp/1661.htm>

以 上